

タイムテーブル

タイムテーブル	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
鳳凰の間 東 2F		総合挨拶 事業説明	受付		休憩	受付	新産業育成分野 分科会 (15:50~17:02)		
鳳凰の間 中 2F		基調講演 「新たな価値の創出をめざして 宇宙航空ビジネスの展開」 (13:20~14:30)	第22回 インフォ・フェアinわかやま (同時開催) (10:00~16:00)			耳寄りな制度のご紹介 (14:40~15:35)			
鳳凰の間 西 2F						受付	地域資源活用分 野分科会 (15:50~17:02)		
鳳凰の間 東前 2F				知的財産相談 技術相談 開発支援相談 — 産学官連携・技術連携・補助金等 — (13:00~17:00)					
孔雀の間 東 3F							受付	ポスターセッ ション・交流会 (17:20~18:20)	

相談ブース

2F 鳳凰の間 東前 13:00~17:00

知的財産相談 (一般社団法人和歌山県発明協会)

一般社団法人和歌山県発明協会の知財コーディネーターが、知的財産(特許、実用新案、商標、意匠など)のご相談をお受けします。

技術相談 (和歌山県工業技術センター)

食品、繊維、プラスチック、木材・木製品、皮革、漆器、機械金属、電子、化学、薬事などの製造業について、あらゆる技術的なご相談をお受けします。

開発支援相談 — 産学官連携・技術連携・補助金等 — (公益財団法人わかやま産業振興財団)

公益財団法人わかやま産業振興財団のコーディネーターが、産学官連携・技術連携をはじめ、研究開発に必要な様々な経営課題に対して、ご相談及び支援策の紹介を行います。

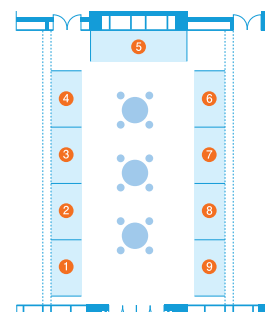
第22回インフォ・フェアinわかやま (同時開催)

2F 鳳凰の間 中 10:00~16:00

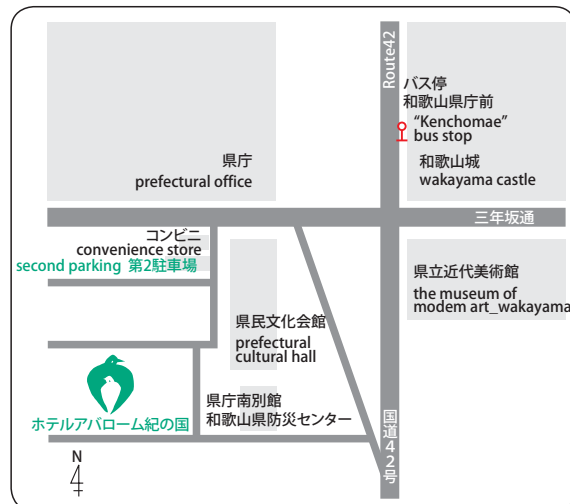
『最先端のIT技術』を来場者に体験・実感していただくことにより、和歌山県内の情報系企業の新技術・情報と新製品を紹介するとともに、技術交流による地域の活性化を推進することを目的に開催いたします。

和歌山情報サービス産業協会 会員企業出展ブース

ブースNO	会社名
1	株式会社エスアールアイ
2	富士通株式会社
3	和歌山大学
4	近畿大学生物理工学部
5	和歌山ゼロックス株式会社
6	紀州技研工業株式会社
7	株式会社宮崎エンジニアリング
8	アイレス電子工業株式会社



会場周辺地図



お申込み・お問い合わせ



テクノ振興部 テクノ振興班
和歌山市本町二丁目1番地 フォルトワジマ6階
TEL 073-432-5122
FAX 073-432-3314
E-mail tk7@yarukiouendan.jp

参加申込締切日

平成26年11月5日(水)

第23回わかやまテクノ・ビジネスフェア

わかやま発 技術シーズ発表会

大学や高等専門学校・公設試等における最新の研究成果や技術ノウハウ等の技術シーズを県内企業にご覧いただき、新たな共同研究連携体(産・学・官連携等)の構築による新産業の創出を目的に第23回わかやまテクノ・ビジネスフェア わかやま発技術シーズ発表会を開催いたします。新たな研究開発の展開を考えておられる企業者等の方をはじめ、産学官連携のコーディネートに関係する方など多くの方のご参加をお待ちしております。

2014年11月12日(水) 13:00~18:20

アバローム紀の国 2F 鳳凰の間・3F 孔雀の間
和歌山市湊通丁北2-1-2

主催

公益財団法人わかやま産業振興財団 和歌山県
一般社団法人和歌山情報サービス産業協会

後援

国立高専機構和歌山工業高等専門学校 一般社団法人和歌山県発明協会
一般財団法人大阪科学技術センター

基調講演

2F 鳳凰の間 東 13:20～14:30

JAXA 〈独立行政法人宇宙航空研究開発機構〉 講演 「新たな価値の創出をめざして 宇宙航空ビジネスの展開」

JAXAは2013年10月1日に創立10周年を迎えました。

我々 JAXAは、これまで目標としてきた宇宙航空分野における我が国の技術基盤確立の段階から、新たな段階へ入るべき時を迎えたとの認識のもと、「新生JAXA」として再出発しました。

「新生JAXA」は宇宙航空分野の研究開発を通じ、これからも我が国の技術の発展、先導を着実にやっていくとともに、それらを基盤として、他産業等との連携も推進しつつ、社会や学術界が抱える様々な課題に対して有効な解決策を提供し、新たな価値を創造することによって、新しい時代を切り開くことを目指しています。

本講演では、宇宙航空業界の現状と、技術活用の事例をご紹介します。これらの例から、宇宙航空とのかかわりについてアイデアを深めていただき、共に新たな価値を創出できれば幸いです。

宇宙関連産業界の現状と、宇宙技術、衛星画像活用事例をご紹介します。



JAXA
独立行政法人
宇宙航空研究開発機構
新事業促進センター長
小川 真司 氏

〔略歴〕
昭和63年(1988) 東京大学工学部計数工学科卒業
同 特殊法人宇宙開発事業団入社
人工衛星の地上系運用システム開発、地球観測衛星プロジェクト等を担当
平成15年(2003) 独立行政法人宇宙航空研究開発機構へ組織統合（政府関連の宇宙関連3機関の統合）
衛星インターネット実証実験、月惑星探査の事業推進等を担当
平成26年4月(2014) 新事業促進センター発足及びセンター長に就任

耳寄りな制度のご紹介

2F 鳳凰の間 東 14:40～15:35

ものづくり支援機器が勢ぞろい！

14:40～15:10

一般財団法人大阪科学技術センター

近畿経済産業局の事業により、近畿地区10公設試に、試作、品質評価・改良、品質管理、トラブル対策等、ものづくりの各ステップを支援する機器が多数整備されました。昨年度設置分と今年度設置される機器も含めて、これら機器がどのような分野に、どのような用途で使用されるか等を具体的な事例を織り交ぜて紹介いたします。今年度は特に、試作段階に特徴的な機器がそろいました。

〔導入予定機器〕

医療用チタン複合部材造形システム（福井県工業技術センター）、大変位振動衝撃試験機（滋賀県工業技術総合センター）、プラスチック部材信頼性評価システム（滋賀県東北部工業技術センター）、マイクロフォーカスX線CTシステム（京都府中小企業技術センター）、レーザーメタルディポジションシステム（大阪府立産業技術総合研究所）、マイクロフォーカスX線透過装置（兵庫県立工業技術センター）、スマートサーモアナリシスシステム（奈良県産業振興総合センター）、試作レス開発支援システム（和歌山県工業技術センター）、微小部薄膜評価用X線回折装置（京都市産業技術研究所）、傾斜切削顕微FTIR・NIR測定装置（大阪市立工業研究所）

ポスターセッション・交流会

3F 孔雀の間 東 17:20～18:20

技術シーズ発表会において発表した技術シーズや産学官連携事例紹介などのポスターセッションを行います。

くつろいだ雰囲気の中で情報交換や質疑、交流を図り、参加者の皆様にとって 技術連携・産学連携・産産連携など“さまざまなきっかけ”をつくる良い機会として本交流会をご活用ください。

ポスターセッション・交流会への参加費は、有料（1,000円）とさせていただきます。



技術シーズ発表会

2F 鳳凰の間 東・西 15:50～17:02

新たな産業・技術の創出を目的とした「新産業育成分野」分科会 と 地域資源を活用した「地域資源活用分野」分科会の二つの分科会にわかれ、ショートプレゼン方式による 技術シーズ発表 及び 産学官連携事例紹介 を行います。

■ 新産業育成分野 分科会 鳳凰の間 東

No	発表概要
技術シーズ発表会（新産業育成分野）	
1	15:51～15:59 工業技術センターにおけるスマートものづくりの取り組み （和歌山県工業技術センター 機械金属産業部 機械金属グループ） 3Dプリンターや設計者向けCAEの登場により、3Dデータの利用価値が拡大しています。今後、工業技術センターが強化するスマートものづくり支援の概要と製品開発における3Dのメリットをご説明します。
2	16:00～16:08 3Dデータの作成によるスマートものづくり （和歌山県工業技術センター 機械金属産業部 造形グループ） 3次元CADや3次元CG、3Dスキャナーを使用した製品形状作成方法や各手法を組み合わせたハイブリッドモデリングの取り組みの事例から3Dデータの作成によるスマートものづくりを紹介します。
3	16:09～16:17 CAE(Computer Aided Engineering)を活用したスマートものづくり （和歌山県工業技術センター 機械金属産業部 機械金属グループ） スマートものづくりにおけるCAEの役割について、当センターの製品の強度予測や形状最適化に関する適用事例を交えて具体的に紹介します。併せて、ものづくりにおけるCAEの活用方法についてご説明します。
4	16:18～16:26 3Dプリンターを活用したスマートものづくり （和歌山県工業技術センター 機械金属産業部 造形グループ） 3Dプリンターの特徴や用途、メリット、導入効果などセンター保有機器による事例を交えて、スマートものづくりにおける3Dプリンターの役割について紹介します。
5	16:27～16:35 グリーンテクノロジーによる半導体薄膜 （国立大学法人和歌山大学 システム工学部 精密物質学科） 真空を用いずに半導体結晶薄膜を成長する手法にミストCVD法や電気化学堆積法がある。これらの手法を用いて、酸化半導体や硫化物半導体の薄膜を製作した例について紹介する。
6	16:36～16:44 医療・産業応用を目指した糖鎖の合成 （国立大学法人和歌山大学 教育学部） 核酸、タンパク質に次ぐ第三の生命鎖として注目される糖鎖は、医薬品、食品、化粧品など多岐にわたる分野で応用されつつある。糖鎖の概要を解説しつつ、当研究室で達成した簡易合成事例とその応用例を報告する。
7	16:45～16:53 呼吸マウスの開発 （近畿大学生物理工学部 人間工学科） 主に障がい者を対象として開発した、“息”でマウスを動かす装置を発表します。呼吸（息）を用いて、マウスカーソルを左右上下に動かし、さらに右クリックと左クリックを可能としました。
8	16:54～17:02 低価格なデジタル信号重量伝送方式の提案 （国立高専機構和歌山工業高等専門学校 電気情報工学科） マイコン同士の通信には一般にCAN、LINなどの組込み用ネットワークが使用されるが通信の最高速度はせいぜい20kbp/sであり、OA機器や産業機器には適さない。本技術では数MHzでDC電源にデジタル信号を重量伝送が可能な低コストシステムを提案する。

■ 地域資源活用分野 分科会 鳳凰の間 西

No	発表概要
技術シーズ発表会（地域資源活用分野）	
1	15:51～15:59 低侵襲医療用マイクロ触診プローブの基礎研究 （国立大学法人和歌山大学 システム工学部 光メカトロニクス学科） 本研究では、MEMS微細加工技術を駆使し、圧電効果の基本原理由もとに生体組織内数mm大きさのかたまりやしこり（腫瘍）の検出を目標とした低コストで高感度・高分解能触診プローブの基礎研究について紹介する。
2	16:00～16:08 ナノカーボン材料の作製と物性改変 （国立大学法人和歌山大学 教育学部） ナノテクノロジーを牽引してきたナノカーボン材料とは、C60、カーボンナノチューブ、グラフェンを意味する。我々は、エレクトロニクス分野への応用を目指し、カーボンナノチューブの作製と物性改変やグラフェンの作製に取り組んでいる。本フェアでは我々研究グループの成果と本分野の現状を紹介する。
3	16:09～16:17 栽培環境制御による作物の特定成分生産量の調節 （近畿大学生物理工学部 生物工学科） 近年、光や温度、培養液などの栽培環境の制御が可能な植物工場への関心が高まっています。本研究では、環境を制御することで作物の特定成分量を調節し、植物工場産作物の付加価値を高めることを目指しています。
4	16:18～16:26 日高町がお届けする「なた豆茶」 （国立高専機構和歌山工業高等専門学校 物質工学科） 日高町元気塾が主導で製造販売している「なた豆茶」は有効成分であるカナバニンを豊富に含み、添加物フリーの体に優しいお茶です。本プロジェクトは国立高専和歌山高専と産学連携で取り組んでおり、新しい地場産業の創出に期待されています。
産学官連携事例紹介	
5	16:27～16:35 「水棲細菌由来耐熱性コラゲナーゼの性状解析」 （和歌山県農林水産部 水産試験場 内水面試験地） Flavobacterium属細菌に由来するコラゲナーゼ遺伝子を枯草菌を用いて発現させ、その遺伝子産物の酵素学的性状を調べた。当該コラゲナーゼはin vitroで高い熱安定性を示し、高温下でゼラチンをペプチド化することが明らかとなった。
6	16:36～16:44 果樹加工への過熱水蒸気の応用 （株式会社VSフィット） 地域イノベーション戦略支援プログラム事業 「果樹の過熱水蒸気加工技術」を開発し、今年実用化しました。生梅に適用すると機能性成分が保持される上に香りや色彩、シロップ等との親和性、保存安定性等が大きく増し、新たな商品開発が始まっています。
事業紹介	
7	16:45～16:53 発明協会の活動と支援事例の紹介 （一般社団法人和歌山県発明協会） 当協会は発明の奨励と産業財産権制度の普及啓発を目的としています。今回、その活動内容を紹介するとともに、今まで「知財総合支援窓口」として対応している中からその支援事例を報告いたします。
8	16:54～17:02 革新的企業へ変革する俊敏ソフトウェアの独自開発 （株式会社宮崎エンジニアリング） 第22回インフォ・フェアinわかやま 他のシステムでは到達できない高成果が得られます。最新技術と新しい発想で、全て自社開発。使う限りは徹底的に高機能で省力化。数段ステップアップした革新的企業へ変革する俊敏ソフトウェアを紹介します。

*分科会タイムスケジュールは予定であり、予告なく変更する場合があります。*質疑応答は行いません。